

次期「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」について

1 総合戦略と総合計画の一体化

総合戦略とは、急速に進む少子高齢化と人口減少に的確に対応し、東京一極集中を是正し、市が将来にわたり持続可能なまちづくりを進めるための計画である。

一方、総合計画は、市の最上位計画で、地域における総合的かつ計画的な運営を図るための計画である。

市の将来を展望するにあたっては、人口減少・少子高齢化は市政運営における重要な課題であり、また、持続可能なまちづくりは市政運営の基本的な考え方であるが、これは、総合戦略、総合計画に共通した考え方である

このため、総合戦略は個別に策定するのではなく、総合計画と一体的に策定することとする。

2 「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の延長

現行の「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の計画期間は平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）である。また、第五次総合計画（後期）の計画期間は平成 28 年度から令和 2 年度までで、現在、令和 3 年を始期とする第六次総合計画を策定中であり、1 年間の差異が生じている。

このため、現行の総合戦略を 1 年間延長し、第六次総合計画と一体化を図るものとする。

【一体化・延長のイメージ】

